

Kenren No.52 Kanōn

神奈川県
合唱連盟
機関情報誌

2006年冬号

発行:2006.1.10

新年のご挨拶

Cantus omnibus unusと Dona nobis pacem

神奈川県合唱連盟理事長 桑原 妙子

昨年の夏に京都で開催された「第7回世界合唱シンポジウム」のテーマ曲として坂本龍一氏に委嘱した作品 Cantus omnibus unus (歌は人々を結ぶ) の冒頭に坂本氏は次のように記しています。

『ぼくはこの曲で、普遍性と現代性を調和させようとした。たくさんの国で、様々な人たちに歌われることを願って。歌う時は、もちろん、それぞれの合唱団の特性に合わせて、自由に移調してもけっこうですし、あるいは自分たちで自由にアレンジして下さってもかまいません。みなさんが、末永くこの曲を愛して下さるのを願って』

シンポジウム期間中、作曲者の願いのように、毎朝オープンシンギングで世界各国からの大勢の参加者により高らかに歌われました。

一方、松下耕氏に委嘱した Dona nobis pacem (私達に平和を与えて下さい) はジュニア合唱祭のクロージングで戦争に翻弄されたアメリカ、中国、韓国、日本の300人の子供たちが、平和を願って合同演奏し「音楽は世界の共通語」という言葉を見事に実現しました。

昨年は特に信じられないような事件が次々と起こり、人々の心が麻痺してしまうのではないかとと思われる状況でした。幼い子供に「人を信じるな」と教えなければならないとは、なんとということでしょう。こんな社会だからこそ、人と心を通わせる『合唱』が大切なのではないのでしょうか？

そして世界の国々の人々が歌で結ばれたら、平和に一步近づけるのではないのでしょうか？

今年はモーツァルト生誕250年記念演奏会が各地で開催されます。(プラハ国立劇場オペラ、Best Classics 100コンサート、高嶋ちさ子、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、等) モーツァルトの音楽のように、明るく、純粋な感性が大切にされる世の中となることを願います。そして「今年こそ良い年でありますように」と願うのは私だけではないと思います。

Cantus omnibus unusそして Dona nobis pacemの思いで、今年1年の県連へのご協力をお願い申し上げますと共に、ますますの発展を期待致します。

これからの事業予定

4月までに開催される事業の予定です。詳細は県連事務局にお問い合わせください。

第8回かながわヴォーカル アンサンブルコンテスト

開催日時

平成18年3月12日(日)

午前10時30分開演予定

会場 神奈川県立音楽堂

入場料 1000円

(高校生以下無料)

審査員 雨森文也 有村祐輔

桑山 博の各氏

第28回 神奈川県ジュニア合唱祭

開催日時

平成18年4月1日(土)

午後1時開演予定

会場 神奈川県立音楽堂

入場料 無料

講師 岩本達明

古橋富士雄の両氏

第29回全日本おかあさん コーラス関東支部 神奈川県大会

(今回から名称が変わりました)

開催日時

平成18年4月22日(土)

午前11時開演予定

会場 神奈川県立音楽堂

入場料 無料

選考委員 足達勝子 岸信介

鈴木静枝 鈴木良朝

吉田孝古麿の各氏

ユースクワイアフェスティバル Part II 開催間近

昨年、ジュニア・中・高合唱団のOB・OG合唱団による「ユースクワイアフェスティバル」として好評を博した神奈川県合唱フェスティバル。第28回目となる今年は、OB・OG合唱団と、母体の合唱団との共演形式となり、さらにパワーアップ！「ユースクワイアフェスティバル Part II」として開催いたします。

各団の単独・合同演奏のみならず、ロバート・デ・コルミエ（現役生）、大熊崇子（OB・OG）、武満徹（混声合唱団）による3つの「さくら」を合同演奏。文字通り花を添えます。各団現役団員の若くはつらつとした歌声と、ちょっとだけ人生経験を積んだOB・OGの表現力、どちらも堪能できる貴重な機会ですよ！

さらには昨夏の世界合唱シンポジウムのために作曲された松下耕の「Dona nobis pacem」混声版初演がエンディングを飾るという1粒で3度おいしいこのステージ。なんと「入場無料」で皆様のご来場をお待ちしております！

●日時：2月12日（日） ●会場：県立音楽堂 ●開演：14時00分 ●入場無料

●出演団体：

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. コールミュゼリス&金沢少年少女合唱団 | 2. Stella Maris&清泉女学院中学高等学校 |
| 3. 多摩高校合唱部OB会&県立多摩高校合唱部 | 4. Blue Leaf&ほどがや少年少女合唱団 |
| 5. ヴォーカルアンサンブル・ヴィクトリア
&横浜雙葉学園聖歌隊 | 6. マルベリ・チェンバークワイア
&小田原少年少女合唱隊 |

第11回「ヴィサン《人生百歳》ジョイントコーラスフェスティバル」 in よこはま

2005. 11. 10

秋冷を絵に描いたような快晴の朝8時10分過ぎ、横浜みなとみらいホール正面にはシニア合唱団の面々。受付の1時間前に面々が揃うという、スタミナの衰えを見せない〇〇パワーはナント頼もしいことか。11月10日は11回目を迎えたヴィサンジョイントコーラスフェスティバルの当日である。昨年は10周年記念大会として2日間の行事、今年は元に復して1日の開催である。

40団体の中には連続11回参加が5、初参加が8、また県外からは福島県1、茨城県2、埼玉県1、東京都3、千葉県1、山梨県1、静岡県2の合計11団体があった。また最高齢者は96歳。締め切り日以前に50を超す団体の参加申込みで、予定オーバーの40団体1,360人の皆さんにご出演いただいたが、その分だけ参加された方々に不便を押しつけたのではないかなどと反省しきり。傷害・疾病のトラブルが出なかったことは例年通りであるが幸いであった。動員40人のスタッフがよく働いてくれた。多謝。



松村努両先生には大変お疲れのことと拝察。

望外の客として、今年の文化勲章を受章された聖路加国際病院、ライフ・プランニング・センター理事長

バロック音楽から「港町13番地」果てはフラメンコまでと多彩なステージで、来年はどんなコンサートになることかと贅沢な心配をしている。講師の中村義春、

の日野原重明先生がひょっこりとお見えになった。演奏の合間を縫って飛び入りで桑原県連理事長からの紹介に続いて、「94歳



を過ぎたので、今度は100歳でコーラスの指揮をヴィサンで……」と、昨年以上の大元気でご挨拶と激励をいただく。満場欣喜。「うっかり死んだら大損するわね」と女性同士のやりとりも小耳に。日野原先生、毎年お出向きくださるように。

因みに筆者より四半世紀近く前を歩いておられ、そして若々しいのが日野原先生である。

コンテストの要素を持たない、本当のフェスティバルとしてたくさんの方が和気藹々の内に歌えること、そしてその演奏をたくさんの方が聴きあえること、これが主催者としての望みであり、実現に努めている。

良い話し手はよい聞き上手である、合唱も良い歌い手はよい聴き手であるとしたい。

ヴィサン=Vi cent（人生百歳）、合唱が心身の健康維持増進と社会への奉仕にいかに関与するものであるか、毎年そこに思いを馳せ、感謝の心をジョイントコンサートに載せて、さらに共鳴者の現れることを祈っている。

その内にいずれかの合唱連盟から新しいヴィサンのお誘いが出てくるか、あるいは誘致があるか、それもまた楽しみの一つである。2006年は11月9日、同じく横浜みなとみらいホールで開催の予定。

ヴィサン実行委員長 高橋 勝

「メサイア」

ヘンデル(1685-1759)
第40回クリスマス音楽会・県立音楽堂主催

年末の恒例行事となっている県立音楽堂「メサイア」が、12月11日(日)午後2時30分より開催された。この冬一番の寒さの中、開演の1時間前には長蛇の列、この演奏会の人気の高さを表していた。

オーケストラは神奈川フィルハーモニー、指揮者には今年も小泉ひろし氏を、ソリストはソプラノ・市原愛、カウンターテナー・上杉清仁、テノール・君島広昭、バリトン・青山貴の4氏を迎え、満員の会場はこれから始まる演奏に、期待と熱気で溢れていた。

神奈川県合唱連盟では、この演奏会の合唱を担当しており、今年も連盟加盟41団体・200人の参加をいただき、晴れの舞台に臨んだ。合唱指導は小泉ひろし氏と合唱連盟の桑原妙子理事長が行い、11月から5回の合唱練習と前日のゲネプロの計6回で本番を迎えた。この大曲をこの練習回数で仕上げるのは、かなり大変な作業で、1曲をただ通すだけでも2時間近くかかる。それが出来たのは、この演奏会の40回という歴史と、合唱団員の努力のたまもの、それと小泉、桑原両氏のおかげに他ならない。「メサイアはバロックの音楽、当時は楽器も現在のように大きな音も出ない、その中で合唱をしなければならない」、「決して張らない、怒鳴らない、優しく、優しく」「この歌詞は古い英語、言葉のリズム・抑揚・発音を大切に、そこに音程をつけて」等々、又、曲目の物語の解説を交えながらの素晴らしい指導の積み重ねで今日のステージを迎えられた。

最後の「アーメンコーラス」の感動が会場を包み、いつまでもアンコールの拍手が鳴り止まず、無事に今年の「メサイア」を終了することが出来た。夕闇に包まれた音楽堂を後にする聴衆のうしろ姿が暖かく感じられた一日の終わりだった。

カノン担当



指揮
小泉ひろし



ソプラノ
市原 愛



カウンターテナー
上杉 清仁



テノール
君島 広昭



バリトン
青山 貴

全日本合唱コンクール課題曲予約申込みおよび販売のお知らせ

本年度合唱コンクール課題曲集(合唱名曲シリーズNo.35)の予約を受け付けます。2月3日(金)までに申し込まれますと早くお手元に届き、30冊以上申し込まれると版元より直接配送され、送料も無料となります。3月中旬より県連事務所でも販売いたします。(定価1000円)

申込み・お問い合わせは県連事務所まで

「合唱名曲シリーズ(平成18年度全日本合唱コンクール課題曲集)」

価 格 定価:1000円(消費税込み) 発行日 平成18年3月10日(予定)

【曲目一覧】

〔混声〕

- G1 Sancta Maria Francisco Guerrero 曲
- G2 The Coolin(「Reincarnations」から) James Stephens 詩・Samuel Barber 曲
- G3 とむらいのあとは(「初心のうた」から) 木島 始 詩・信長貴富 曲
- G4 いなくなる(「子どもの肖像」から) 谷川俊太郎 詩・山内雅弘 曲
(平成17年度合唱組曲作品公募入選作品《第16回朝日作曲賞》)

〔男声〕

- M1 Candida virginitas Cristóbal de Morales 曲
- M2 Ave Maria Joan Szymko 曲
- M3 たいしめ(「阿波」から) 三木 稔 曲
- M4 小夜の中山(「東海道中膝栗毛」から) 千原英喜 曲

〔女声〕

- F1 Ave Maria Giovanni Pierluigi da Palestrina 曲
- F2 Immer, wenn der Märzwind weht Therese Köstlin 詩・Arnold Mendelssohn 曲
- F3 雨の日 壺田花子 詩・中田喜直 曲
- F4 緑の中へ(「明日のりんご」から) 新川和江 詩・高嶋みどり 曲
(G4、F3、F4、はピアノ伴奏、他の曲は無伴奏です)

地域と結ぶ合唱プロジェクト 「岐阜・金山中学校にて」

事務局次長 田中 実

平井事務局長の「クルマの鍵がない!」、下呂に夕方到着早々温泉街を鍵さがし。地域を結ぶ合唱プロジェクト「岐阜・金山中学校 校内合唱コンクール指導」は、この第一声で始まった。何の事はない「鍵」は、座席の下に落ちていた。平井事務局長の知られざる一面をかいま見た一瞬だった。

10月30日(日)・31日(月)・11月1日(火)の2泊3日のスケジュール。平井事務局長、風邪気味の私田中事務局次長、trinityより北島さん、富田さん、平井さんの3名。中央高速で中津川インターを降り北上、飛騨高山方面に1時間ほど走り下呂に到着。なお、全日本合唱連盟より『ハーモニー』の取材で来られた坂元勇仁先生は、夜、宿泊先の民宿にて合流。

この日の夜は、金山中学の大前校長以下6名の先生方と顔合わせの夕食会。「1学年2クラス、全校生徒194名ですので、明日からの時間割はこれでいかがでしょうか」と、指導の打ち合わせをしながらの楽しい2時間があっという間に過ぎて行った。地酒の「天領」を少し頂いたが、これがバカ旨い。金山中学はここからクルマで約30分、早めの就寝で明日に備えた。



月曜日は朝から晴天、紅葉には少し早い山間の飛騨川沿いを金山中学へ急ぐ。学校入り口には「自分にきびしく・友達にやさしく・仲間と共にたくましく」の碑。これは金山中学の教育方針。今の自分を振り返り少し心がゆれた。午前中指導する曲は、1年生のコンクール課題曲の富岡博志作詞作曲「フレイトイ」。前半の40分は2教室を使い、男子を平井先生、女子を北島さん富田さんの2人で指導。昨年、平井先生が

一人で全部なされたとのこと。今回は、効率も良く、生徒も全員が暗譜だったので、細かい部分まで指導出来た。後半は、1年生全員で平井先生の指導。少年少女合唱団を指導しているだけあって、約70名の生徒がまったく飽きずに練習に集中していた。指揮者・ピアニストもクラス代表の生徒が行なったが、特に指揮の指導が大変。休み時間も使って熱心な指導が続いた。「大勢で声を合せ、心を合せるのが合唱」の言葉に、私も合唱の魅力を確認した。

一人ですべてなされたとのこと。今回は、効率も良く、生徒も全員が暗譜だったので、細かい部分まで指導出来た。後半は、1年生全員で平井先生の指導。少年少女合唱団を指導しているだけあって、約70名の生徒がまったく飽きずに練習に集中していた。指揮者・ピアニストもクラス代表の生徒が行なったが、特に指揮の指導が大変。休み時間も使って熱心な指導が続いた。「大勢で声を合せ、心を合せるのが合唱」の言葉に、私も合唱の魅力を確認した。



昼食は、校長室で大前校長と一緒に給食をいただく。45年ぶりに食べる給食は、ミートソースうどん、ハンバーグ、パック牛乳、するめイカ、みかん。舌鼓を打つとまではいかなかったが、量の多さでお腹はいっぱい。ちなみに価格は250円程度だそう。

午後は2年生の課題曲、新川和江作詞・飯沼信義作曲「名づけられた葉」の指導。午前中と同じく、前半は男女に分けて2教室で、後半は全員で平井先生の指導。「詩の内容を理解することが大切」という事で、各クラスの代表にそれぞれの課題曲を朗読してもらった。その中で、2年1組の男子が素晴らしい朗読をしてくれた。「君は、声もいいし朗読も良かった、アナウンサーになれるかも」と平井先生の言葉。今日のこの時は彼にとって忘れられない1日になったと思う。

1日目の最後の40分は、各学級に分かれてコ



ンクール自由曲の指導。平井先生が1年生2クラスを、平井あずささんと私田中が2年生各クラスを、北島さん、富田さんが3年生各クラスを受け持った。私にとっては生まれて初めての教育実習。40分間中学生を集中させる事の難しさを痛感した。お金では買えない貴重な体験をさせてもらった。これが原因ではないだろうが、下呂温泉のお風呂に湯冷めして咳風邪をひいてしまい、2日目は合唱に参加できず、取材活動に専念する事になった。全日本の坂元先生は取材を終えて夕方の高山線で帰京、ハーモニー冬号が楽しみだ。



2日目火曜日
も朝から晴天、
なれど私は昨夜
から咳がひどく
最悪の状態。練
習の邪魔になら
ないよう各教室
を巡ってのカメ

ラマンになる事にした。午前中は3年生の課題曲、川崎洋作詞・寺島陸也作曲「風になりたい」(混声四部合唱)の指導。昨日と同じく、前半は男女に分けて2教室で、後半は全員で平井先生の指導。この曲は今年のNHKコンクールの高校部門課題曲で、中学生にとっては難易度が少し高いように思えたが、全員が暗譜で、音取りもかなり正確に出来ており、ピアノとの合せも良く出来ていて、一生懸命の練習結果が演奏に表れていた。声質は、1年生特に男声の地声が目立ったが、2年生では少し消え、3年生では余り目立たなくなっている。ただ残念なのは、テナーの高音域がどうしても地声になってしまい、上手くハモらないのは仕方のない事か。この曲の最後の和声でテナーがどうしても下がってしまう。私は「このような時のために」と言われて金山に来たのだが、咳風邪のため全くお役に立てず。(申し訳ございませんでした)。

女声に関して
は、2年生では
もう合唱の声で
ハーモニーになっ
ており、3年生
では合唱を楽し
めるまでに声質
が揃っていた。



平井先生から、毎年毎年レベルが上がっているとお話を伺った。しかし、各クラス代表の指揮者に関しては、自己流を直し、基本に忠実に指揮が出来るように指導するものの、一朝一夕には行き

そうもない。(当たり前であるけれど)。平井先生は、昼休みの給食もそこそこに、指揮者とピアニストの待っている教室へ飛んで行った。臨時特別練習だ。

大前校長より「少し前、校庭の向こうを鹿が歩いていました」とのお話。この学校の自然の豊かさと、そこで学んでいる生徒さんの素直さを改めて実感した。

午後は、体育館での全校合唱、東龍男作詞・山本純之介作曲「明日の空にはばたけるつばさを」演奏。指揮は3年生男子の校内合唱コンクール実行委員会の委員長。私達の2日間の指導に対してのお返しの演奏だった。指揮者に向けられた真剣な眼差しに、素敵なハーモニーが体育館いっぱいに広がった。その演奏のお礼に、今度はtrinityの北島さん・富田さん・平井さんの3人による木下牧子作曲「いっしょに」の演奏。体育館の空間が、教会と同じような空間を作り出し、素晴らしい女声3部合唱が響きわたった。そして、全校生徒の暖かい拍手を背に、心温まる思い出と共に金山中学を後にした。



中央高速を一路横浜へ。途中諏訪湖サービスエリアで一休み。最後のお土産タイム。ところが、北島さんの「大変！私の携帯がない！」。探しても見つからない。最後にダイアルしてみると、どこかで鳴っている。クルマのトランクの奥から微かに聞こえてくる。やっと探し当て一同一安心。「クルマの鍵がない！」で始まり、「携帯がない！」で締めくくったプロジェクトだった。来年の春には3年生が、みなとみらい大ホールに卒業記念のCD録音のため修学旅行でやって来る。再会までに、かれらの歌声がどんなに変わっているかが楽しみだ。今年の「カノン」記事にもあったように、非常に純朴な、そして目の輝いている生徒達。教育熱心な優しい先生方。埃一つない綺麗な校内。山と川と大自然に抱かれた素晴らしい環境。プロジェクトの一環でこのような方々との絆が続いていることに、改めて大きな意義を感じた。

第12回中高生のための ヴォーカルアンサンブルコンサート開催報告

実行委員長 金子佳弘

- ・日時 平成17年12月26日(月) 9:15～
- ・会場 清泉女学院講堂

毎年暮れの押し迫った中、中高校生を対象とした小編成のアンサンブルコンサートを開催しておりますが、ここ数年間は参加校数が減少し、コンサートが存続できないのではないかという危機感が実行委員を始め、県連全体で叫ばれておりました。このような状況の中、事務局の全面的協力を得て、昨年のNHKコンクール出場校、および、市販の高校受験案内などから、合唱部が存在する学校に文書にて広報活動を行ない、各種の県連主催事業では広告を出し、宣伝活動を行なってまいりました。その結果、今まで少なかった中学校団体の参加が増え、全体でも昨年より10チーム以上増えました。ご存知の方も多いと思いますが、県内の中学の合唱は、コンクール出場のための特別編成の合唱団が多く、1年間に互って活動する学校はほとんどありません。その出場メンバーも変声期を終えた中学3年生、しかも音楽選択クラスが主で、コンクール終了と同時に解散となります。従いまして、今回参加して



きた中学校団体は一部を除けば、1、2年生を中心としたメンバーとなっています。精神的な面で最も指導が難しいとされる十代前半の生徒を秋

口から冬にかけて引っ張ってこられた顧問の先生方におかれては多大なるご苦労があったと思います。昨年度の開催報告にも書かせていただきましたが、音楽経験の浅い生徒たちをコンサートに参加させるまでには、技術面だけでなく、やる気にさせ、モチベーションを常に維持させるために相当なエネルギーを要しているものと思います。(中高の合唱は先生が第一と言われる所以が正にここにあります。私も教師は若い世代の将来性を見据え、変動の激しい現代の合唱事情に常に通じていなければならないのではと考えています。)



さて、今回のコンサートは例年以上に大盛況でした。「メッセージカード」と題した講評カードの積極的な交換が行なわれ、受付に設置した「情報コーナー」では定期演奏会のチラシを配布するなど、各校が熱心にPR活動を行っておりましたが、圧巻だったのは、田中登志生先生の指揮による参加450名の生徒による合同合唱でした。4年前の理事就任以来、主に中高生の事業を担当しておりますが、ようやく日の光が見えてきたように感じております。今後とも若い世代の合唱活動をご支援いただくよう、お願いいたします。

神奈川県合唱連盟加盟団体

コンサートガイド



☆12月22日までに事務所へお届けのあった分について掲載しました。

☆次回〆切は3月10日。発行は4月10日の予定です。

2006年2月～

2月

25日
(土)
開演
13:30

横浜国立大学グリークラブOB合唱団 第7回定期演奏会

◇「水のいのち」 高田三郎作曲

◇「第2ミサ曲」 グノー作曲

◇グリークラブ愛唱歌集より 「野ばら」「涙そうそう」他

指揮：飛永悠佑輝

ピアノ：佐藤美保子 エレクトーン：海津幸子 賛助出演：横浜国立大学グリークラブ

会場：横浜みなとみらいホール 大ホール 入場料：A席2000円 B席1500円(全席指定)

問い合わせ：OB合唱団事務局/吉原 044-522-3640

3 月	25日 (土) 開演 18:30	<p>大船高校合唱部 第17回定期演奏会</p> <p>◇北半球 歌の旅 「Let it be」「カリンカ」他 ◇ア・カペラ 《ルネッサンス～現代ハンガリー》 ◇オペラ 《シンデレラ》 ロッシーニ作曲 大船高校合唱部版 ◇Missa brevis et solemn in C モーツァルト作曲 指 揮：鈴木夏美 ピアノ：加藤晴美 会 場：鎌倉生涯学習センター 問い合わせ：鈴木夏美 045-894-3338</p> <p style="text-align: right;">入場料：無料</p>
	31日 (金) 開演 18:00	<p>県立多摩高校合唱部 第40回定期演奏会</p> <p>◇「レクイエム」より モーツァルト作曲 ◇混声合唱組曲「あしたの灯(あかり)」 門倉詠作詩 吉岡弘行作曲 ◇楽しいステージ 映画「となりのトトロ」より「さんぽ」 久石譲 指 揮：小川英子 ピアノ：黒澤幸子 オルガン：岡田佳奈 会 場：多摩市民館 問い合わせ：多摩高等学校 小川英子 044-945-7107</p> <p style="text-align: right;">入場料：無料</p>
4 月	8日 (土) 開演 14:00	<p>横浜グリークラブ 第12回定期演奏会</p> <p>◇ミサ曲へ長調作品190番 ラインベルガー作曲 ◇男声合唱組曲「わがふるき日のうた」 三好達治作詩 多田武彦作曲 ◇ウィーンわが夢の街 ジーチンスキー作曲 他 指 揮：松崎陽治 ピアノ：増本博子 電子オルガン：永瀬真紀 ソプラノ：阿部葉子 会 場：神奈川県立音楽堂 問い合わせ：竹内(事務局) 045-931-0968 HP: http://home.c03.itscom.net/shoujtk/index.html</p> <p style="text-align: right;">入場料：1500円(全席自由)</p>
	15日 (土) 開演 19:00	<p>横浜シティ合唱団 第8回演奏会</p> <p>◇「ドイツ・ミサ」 シューベルト作曲 ◇「レクイエム」 モーツァルト作曲 指 揮：佐藤功太郎 合唱指揮：鈴木竜哉 オーケストラ：アンサンブル・アルス・ノヴァ オルガン：三浦はつみ ソプラノ：臼木あい アルト：坂上賀奈子 テノール：藤井雄介 バ ス：大山大輔 会場：横浜みなとみらいホール 大ホール 問い合わせ：武井なが子 045-572-3018</p>
	16日 (日) 開演 14:00	<p>横須賀女声合唱団 第6回演奏会</p> <p>◇「3つの海の歌」 川崎洋作詩 池辺晋一郎作曲 ◇「やわらかいいのち」 谷川俊太郎作詩 新実徳英作曲 他 ◇7つの子ども歌より 「わらべうた」 信長貴富編曲 ◇寺島尚彦のメッセージ「さとうきび畑」 清水昭編曲 指 揮：清水敬一 ピアノ：池浦真紀子 会 場：よこすか芸術劇場 問い合わせ：河野桂子 046-841-0753</p> <p style="text-align: right;">入場料：1500円</p>

4
月

20日
(木)
開演
14:00

汐見台フラウエンコール 第11回定期演奏会 ～アフタヌーン・コンサート～

◇Messe in Es op.155 ラインベルガー作曲

◇「四つの愛のかたち」 高橋順子、新川和江、谷川俊太郎、高橋睦郎作詩
三善晃作曲

◇ソプラノソロ 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」第二幕より

◇山田耕筰 作品集 「故郷の廃家」「旅愁」「殖生の宿」「よしきり」「ペチカ」

指揮：岡本俊久

ピアノ：安藤江浪

ソプラノ・ソロ：奥山恵美子

会場：横浜みなとみらいホール 小ホール

入場料：1000円

問い合わせ：小代 045-753-7259

☆コンサートガイド掲載要項☆

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを無料で掲載することが出来ます。是非ご利用ください。掲載希望の方は下記の項目を記したものを郵送かFAX、またはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。(送り先は巻末に記載)

- 掲載項目：1. 開催日時
2. 合唱団名(会員番号も列記してください)
3. 演奏会名称
4. ステージ・曲目
(作詩・作曲者名も記してください。紙面の都合で全てを載せられないことがあります)
5. 出演者(指揮者・伴奏者など)
6. 会場 7. 入場料金等 8. 問い合わせ連絡先

※カノン発行月と原稿締め切りの予定(原稿締め切り日が変更になりました。ご注意ください)

春号 4月10日発行予定(×切：3月10日) 夏号 7月10日発行予定(×切：6月10日)

秋号 10月10日発行予定(×切：9月10日) 冬号 1月10日発行予定(×切：12月10日)

編集後記

今年は寒さが厳しいし、空気がとても乾燥しています。私事ですが、どうも寝る時に口を開けて寝ているらしく、朝起きると口の中がカラカラで喉が痛いです。寝室に洗濯物を干してみたら多少よくなりました。格安の加湿器ですね(笑) 皆さんも喉を痛めないように気をつけて下さい。

☆Y.M☆

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 桑原妙子

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通15 朝日会館4階

045-681-6033 (TEL・FAX)

ホームページURL <http://homepage2.nifty.com/kanagawakenren/>

e-mailアドレス kanagawakenren@nifty.com



Japan
Choral
Association
KANAGAWA